

©宮城県・旭プロダクション

第8号
令和8年
11月号

セーフティ１２３通信

発行：宮城県・みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会

「セーフティ123通信」は、交通安全キャンペーン
「セーフティ123」の参加者を応援する情報誌です。

宮城県内を走るドライバーのみなさん！安全運転してますか？

事故事例から学ぶ安全運転　テーマ　「横断歩道は歩行者優先」

【事故概要】
　目的のお店を探すことに気をとられて漫然運転し、信号機のない横断歩道を見落としたため横断歩道を渡っていた歩行者を危うく跳ねそうになったもの。

ドライバー：「向かう予定だったお店を探すことに夢中になってしまい、直前まで横断歩道と歩行者に気が付きませんでした。」
「もう少し、車のスピードが速かったり、発見やブレーキが遅れていたら…」
歩行者：「横断歩道を渡っているのだから、車は絶対に止まってくれると思っていました。」
「車の運転手は自分に気付いていると思いました。」



歩行者の交通事故による死傷者の多くは「道路横断中」に発生

　歩行者の安全が優先されるはずの横断歩道で、非常に多くの交通事故が発生しています。
　また、横断歩道以外での横断や走行する車両の直前直後の飛び出しなど、歩行者側にも違反がある事故も多く発生しています。
　これからは暗くなる時刻が早くなり、歩行者の発見が遅れがちになります。
ドライバーの皆さんは、少しでも早く横断する歩行者を見つけられるよう早めにライトを点灯して、しっかりと前を見て運転しましょう。また、歩行者の方は横断する時、左右をしっかりと確認し、横断歩道を渡りましょう。

横断歩道に歩行者がいる時は「一時停止！！」

　ドライバーの皆さんは、横断歩道を横断中の歩行者、または、横断しようとする歩行者がいるときは、横断歩道の手前で一時停止をしなければなりません。
　横断歩道で交通事故を起こした場合、「横断歩道や歩行者に気付かなかった」では済まされず、ドライバー側の大きな責任は免れません。
　横断歩道に近づいたら、まずは車のスピードを落とし、横断歩行者や自転車がいれば、必ず一時停止しましょう。

セーフティ１２３キャンペーンについて

●「第３３回セーフティ１２３キャンペーン」の実施期間は１０月３１日(土)に終了し、６，３１２チーム、１８，９３６人の御参加をいただきました。
御参加ありがとうございました。
実施期間が終わった後も、これまで同様に安全運転に努めてください。
●実施期間終了後、１年以上の無事故・無違反を達成された方には「ＳＤカード」が送付されます。
ＳＤカード優遇店で提示すると割引や優遇特典などを受けることができます。

◎SD カードについてのお問い合わせ◎
自動車安全運転センター宮城県事務所
ご連絡先：０２２（３７３）７１７１

【ＳＤカード見本】





令和８年度夕暮れ時の交通事故防止運動について

夕暮れ時は、日没とともに視界が非常に悪くなるため、横断歩行者等の発見が遅れるなどの要因から交通事故が増加する傾向にあります。

ドライバーの皆さんは、夕暮れ時にはスピードを抑え、早めのライト点灯と、ハイビームを活用するなどして横断歩行者等の早期発見に努めましょう。

また、夜間帯は、運転者から見て「右から横断してくる歩行者」を見落としやすくなります。左側の照明や看板などに気を取られないよう、右側の安全確認を意識しましょう。

歩行者の皆さんは、外出時は明るい目立つ色の服装を着用し、反射材やＬＥＤライトを活用しましょう。また、道路を横断するときは横断歩道を利用し、横断前には十分に左右の安全確認を行いましょう。

運動期間

令和８年１０月１日(木)から令和９年１月３１日(日)まで

☆ 運 動 の 重 点 ☆

① 早めのライト点灯の推進
② 「ライトはハイビームが基本」の周知と実践
③ 反射材用品やLED ライトの活用
④ 歩行者の交通ルール遵守と正しい横断方法の実践



◎ 「ラ・ラ・ラ」運動 ◎

● ライト・オン ～ Light on ～ （ドライバーは、早めのライト点灯）
● ライト・アップ ～ Light up ～ （歩行者は、明るい衣服・反射材用品等の活用）
● ライト・ケアフル ～ Right careful～ （ドライバーは、前方右側からの横断歩行者に注意）